2021年5月吉日

イベント開催のご報告

特定非営利活動法人 桜茶meet

特定非営利活動法人 桜茶meet は、2021年5月21日（金）第一衆議院議員会館内において「茶でSDGsを学ぼう（英語名：Japanese Tea Culture for Sustainable Development ）#InternationalTeaDay2021」を開催いたしました。

5月21日は、国連が2019年12月に採択した「国際お茶の日」です。本イベントでは、茶の湯とSDGs（持続可能な開発目標）を結びつけて日本を世界に紹介することを目的とし、米国やイスラエルに生中継しました。

日本には「自然と調和した暮らし」が古くからあり、SDGsの考え方そのものです。その「知恵」を世界の人に知っていただくことを主眼に企画しました。なお、本イベントは、来年以降も継続開催を予定しています。

※当日の様子は後日アーカイブ動画およびブログで公開いたします

後援：外務省

協賛：JA京都やましろ

協力：
＜スピーカー協力＞
- フアン・パストール・イヴァールス（国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット研究員）
- 吉田利一（16代目 宇治茶生産者。全国茶生産団体連合会・会長）
- ピーター・ゴギ（全米茶協会・会長）
- ホスナ・アハマド・アビ（国連NGOアライアンス・理事）
- 篠原朱音（熊本市環境局環境推進部水保全課）
- 田村千夏（日本茶鑑定士・日本茶インストラクター兵庫県支部長）

＜コンテンツ協力＞
- 千玄室大宗匠（裏千家）
- 和田高甫（いけばな 華道未生流・家元）
- 京都府茶業会議所
- 丹後織物工業組合
- 日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）

＜総合空間プロデュース協力＞
- 引野勲（引野造園株式会社・代表取締役）

＜撮影協力＞
- 安田浩健（あみの食堂・オーナー経営者）

＜配信技術指導協力＞
- 安田俊哉（安田ラボ・代表取締役）

＜告知協力＞
- 国連大学
- 国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
- ナシュビル日本領事館
- テキサス州 サンアントニオ市
- 全米茶協会
- 日米協会ワシントンDC
- イスラエル日本親善協会

  ※その他多くの国内外の団体個人の皆様にご協力いただきました

＜ご協力＞
- 飯村豊（元フランス大使）
- 遠藤洋路
- 中山泰秀
- 森下康弘

イベントコラボレーション：
- 国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

取材掲載：
- 共同通信社
- 京都新聞社

（敬称は省略させていただきました)

以上

茶の湯とSDGs世界へ

NPO催し、米やイスラエルに中継

丹後ちりめんや宇治茶紹介

茶の湯とSDGs（持続可能な開発目標）を結び付けて世界に広める催しが21日、国会内であった。NPO法人「桜茶meet」（名古屋市）がオンラインで開催。丹後ちりめんの着物を着たメンバーが、宇治茶を用いて作法や日本の自然について紹介した。

同法人は、茶の湯を入り口に日本文化や環境への配慮を伝えようと活動している。今回の企画は、国連が定めた「世界お茶の日」に合わせ、米国やイスラエルに生中継した。

法人創業代表の河合顕子さんが、茶の湯の作法を英語で解説。おいしいお茶に欠かせない水は日本の豊かな自然が育むことや、茶畑で堆肥などを活用することを例に「持続可能な生産現場の知恵」に言及した。



丹後ちりめんの着物姿で茶の湯を世界に紹介する河合さん（国会内）

まとっていた丹後ちりめんの着物のことや、茶の湯で使った宇治茶のことも発信した。参加者は「日本では日常的に茶の湯を楽しむのか」などと質問していた。

河合さんは「日本には『自然と調和した暮らし』が古くからあり、SDGsの考え方そのもの。そのことを世界の人に知ってほしい」と話した。

（川越弘太郎）

総合

日本茶の魅力 世界に発信

国際デー 熊本からメッセージ

国連が定める「国際お茶の日」に合わせ、茶を通じて日本文化を紹介するイベントが、オンラインで開かれた。国内各地の生産者らが日本茶の楽しみ方を紹介し、「マッチャ」として世界中で親しまれる茶の魅力を発信した。

主催した特定非営利活動法人「桜茶ｍｅｅｔ」のメンバーが「日本茶は主に緑茶のことで、作り方によっててん茶、抹茶、玉露、煎茶などの種類がある」と解説。京都府宇治市で茶を栽培する吉田利一さんは、覆いの下で茶葉を育てる方法を紹介し「日陰で採れたお茶はおいしい」と話した。

日本庭園の研究をしている国連大学研究員のフアン・パストール・イバールスさんは、石川県で外国人が庭園を掃除した後、お茶を楽しむ様子を紹介。「庭園とお茶は自然との一体感を取り戻させてくれる」と語った。

地下水が豊かな熊本市水保全課の篠原朱音さんは「地下水を使ったお茶が熊本で楽しめます」とメッセージを寄せた。

国連は2019年、お茶の持続可能な生産、消費、貿易の促進を目的に5月21日を「国際お茶の日」と宣言した。



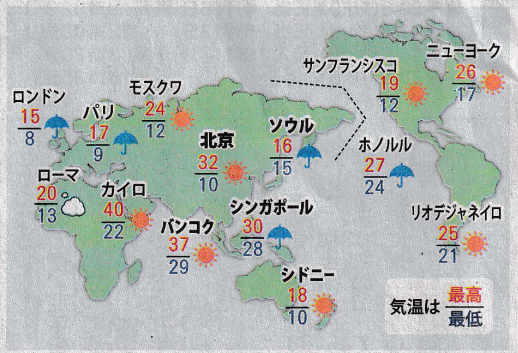
「国際お茶の日」に合わせ開かれたオンラインイベントの参加者ら＝東京都内

ミャンマー 日本企業 引くに引けず

海外ヘッドライン　25日

人民日報（中国）	習主席がベトナム国家主席と電話会談
朝鮮日報（韓国）	検察の政権捜査にさらなる制限検討か
バンコク・ポスト（タイ）	アストラゼネカ製、２回目接種は16週間後
ワシントン・ポスト（米国）	米連邦政府職員のテレワークは継続の見通し
ニューヨーク・タイムズ（米国）	旅客機強制着陸でベラルーシ孤立
タイムズ（英国）	英地方に今後５年で新規住宅約40万戸建設も
フィガロ（フランス）	大統領選調査、マクロン、ルペンら３氏優位
フランクフルター・アルゲマイネ（ドイツ）	伊検察、ロープウエー落下事故で捜査
コメルサント（ロシア）	ベラルーシの強制着陸受け西側が新たな制裁
アルアハラム（エジプト）	エジプト・米首脳、電話会談で協調確認

世界の天気　太字の都市は前日、それ以外は前々日



海外こぼれ話

息子たちのため

英中部の夫婦が、新型コロナウイルス対策でクライミングジムに通えない息子たちのため、３階建ての自宅の天井や壁に取っ手やひもを付け、ジム状態に作り替えた。英メディアが伝えた。

「下には溶岩が流れている」との設定で、床に触れず台所の机から屋根裏の寝床へ移動できるコースが誕生。息子は毎朝起床直後から壁伝いに移動する日々を送ることになりそうだとか。

スライドショー



㊨「あの世」を紹介するテーマパーク「伊豆極楽苑」の華扇さん（左）と彰洋さん㊤㊦「伊豆極楽苑」で展示されている地獄の模型の一部　＝静岡県伊豆市

が国では死という厳粛な事実を一切教えませんので、人ごとだと思っていた死が自分に来たとき、慌てふためき、不安と絶望に恐怖しなければなりません」とある。華扇さんは「良いことをしていれば、死後の世界は怖くない。そのことを知ってほしかったのでは」と推し量る。

小学生の頃から館内の解説をしてきた彰洋さんは「祖父が残してくれたこの場所を、これからも守っていきたい」と話す。再び訪れる客のため、展示品は3人で随時更新する予定だ。

90歳残留2世に戸籍許可

比、念願の日本国籍取得へ

【マニラ共同】日本人の父親を持ちながら、太平洋戦争後の混乱で無国籍となっていたフィリピン残留日系2世のフリオ・オオシタさん(90)＝西部パラワン島在住＝に、広島家裁三次支部が日本の役所で戸籍を新たに作る「就籍」を許可したことが分かった。念願の日本国籍を取得できる見通しだ。

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）などによると、フィリピン残留日系2世の平均年齢は81歳。700人余りが無国籍状態で、日本国籍取得を希望してもかなわないまま亡くなるケースも多い。無国籍者ゼロを目指すUNHCRは、報告書で「緊急性の高い状況」と指摘している。

審判などによると、オオシタさんは聞き取りの席で日本語の歌や簡単な単語を披露し、地元の言葉で「私には日本人の血が流れている。父の故郷に行ってみたい」と述べていた。



2019年9月
フリオ・オオ
＝フィリピ

付に兄と共に在フィリピン日本大使館に手紙を送付、父の親族捜しを求めたが進展しなかった。2018年に日系人の知人から支援団体を教えられ、自ら連絡した。19年に支援団体メンバーや日本大使館員、日本の弁護士らが聞き取りをして陳述書を作成。調査で父の本籍地が広島県だったと分かり、昨年11月に就籍許可を申し立て、先月28日付で認められた。「大下フリオ」の名で戸籍を作るという。

オオシタさんは聞き取りの席で日本語の歌や簡単な単語を披露し、地元の言葉で「私には日本人の血が流れている。父の故郷に行ってみたい」と述べていた。

日本茶の魅力世界へ

国際デーで催し開催

国連が定める「国際お茶の日」に合わせ、茶を通じて日本文化を紹介するイベントが21日、オンラインで開かれた。国内各地の生産者らが日本茶の楽しみ方を紹介し、「マッチャ」として世界中で親しまれる茶の魅力を発信した＝写真。

主催した特定非営利活動法人「桜茶ｍｅｅｔ」のメンバーが「日本茶は主に緑茶のことで、作り方によってでん茶、抹茶、玉露、煎茶などの種類がある」と解説。京都府宇治市で茶を栽培する吉田利一さんは、覆いの下で茶葉を育てる方法を紹介し「日陰で採れたお茶はおいしい」と話した。

日本庭園の研究をしている国連大学研究員のファン・パストール・イバールスさんは、石川県で外国人が庭園を掃除した後、お茶を楽しむ様子を紹介。「庭園とお茶は自然との一体感を取り戻させてくれる」と語った。

地下水が豊かな熊本市水保全課の篠原朱音さんは「地下水を使ったお茶が熊本で楽しめます」とメッセージを寄せた。（共同）



原爆投下翌日に被爆した小笠原貞雄さん



死者次々 助けるすべ

広島陸軍被服支廠

陸軍の軍服や軍靴を製造した施設で、今の広島市南区にあった。爆心地の南東約2.7キロで、外壁が赤れんがの倉庫4棟が現存。最大級の被爆建

った人たちが押し寄せていた。赤チンや油を塗って回ったが、何の薬にもならない。遺体を運び出し焼くことで精いっぱいだった。

被服支廠ではミシンの据え付けや修理を担当した。工場の疎開計画で広島県三次市に出張中、上司から「広島が全滅だ」と連絡を受けた。半信半疑で同僚とトラックの荷台に乗り込み広島市に。街だった場所に鉄筋の建物がわずかに残り、遠くの海が見えた。まだあちこちが燃え、煙のせいか、朝でも少し暗かった。

止まった路面電車の線路をたどり到着した被服支廠では、れんが造りの倉庫が数棟残っていた。3階建ての1階にけが人が

頭を南向きに

ていたが、しまい

のように投げて並

プの背で遺骨をた

し、近くのハスの池

同僚ら20人ほどで

思うが、消息は誰も

野宿をしながら

業に当たり、一度

市を出た日が終戦

事だった両親と共

って山口市に移り

人になって70年以

気に掛かる。本当

なことをした、粗

んなさいと思う。

他にやりようがな

被爆者健康手帳

も経験したが今は

爆なんてあんな惨

度とあってはいけ